

補聴器と人工内耳のメーカー、いくつ知っていますか？

自立活動の授業では、毎年この時期に聴力測定を行い、一人一人自分のきこえを確かめます。自分のきこえを確かめるということは「自分を知る」活動の一つであり、自分が主体的に障害を改善し、克服していこうとする姿勢を促す大切な活動です。

学年が上がると、自分の補聴器や人工内耳のメーカーについても学習します。さて、みなさんは、いくつ御存じですか？

【 補聴器 】

- ① リオン（リオネット）
[日本]
 - ② パナソニック [日本]
 - ③ シーメンス [ドイツ]
 - ④ バーナフォン [スイス]
 - ⑤ フォナック [スイス]
 - ⑥ ワイデックス
[デンマーク]
 - ⑦ オーティコン
[デンマーク]
 - ⑧ GNリサウンド
[デンマーク]
 - ⑨ スターキー [アメリカ]
 - ⑩ ベルトーン [アメリカ]
 - ⑪ ユニトロン [カナダ]
- 等...

【 人工内耳 】

- ① コクレア [オーストラリア]
- ② メドエル [オーストリア]
- ③ バイオニクス [アメリカ]

補聴器メーカーは、会社同士が合併することが多く、数年後には名前がなくなっていることもあるかもしれません…。

補聴器については、最近では、各メーカーともに自立支援法に対応した補聴器が、音質、機能ともに充実しています。

人工内耳については、新しい音声処理の技術がどんどん取り入れられているようです。

みなさんは、自分が付けている補聴器のメーカー、人工内耳のメーカー、分かっていますよね。

今年度の主な行事予定

今年度も、様々な行事を通して、子ども同士の交流を深め、地域の方々に松山聾学校のことを知っていただこうと考えています。主なものは次のとおりです。

- 運動会** 平成24年 5月26日(土) …終了しました
- 高等部体験入学** 平成24年 7月 6日(金)
※ 本校の理容科、普通科の授業体験等を行います。
- 幼児体験学習** 第1回 平成24年 6月21日(木)
第2回 平成24年 9月19日(水)
- サマースクール** 平成24年 8月 1日(水)
※ それぞれの部に分かれて活動します。
- 学校公開** 第1回 平成24年 7月14日(土)
第2回 平成25年 2月 2日(土)
- 文化祭** 平成24年10月21日(日)

愛媛県視聴覚福祉センター「ビデオライブラリー」に行こう！

松山市本町6丁目にある愛媛県視聴覚福祉センターの3階には、ビデオライブラリーがあります。ここでは、字幕入りビデオ・DVDや手話教材などの貸出を行ったり、聴覚障害や手話に関する図書を閲覧することができます。

本校のみなさんには、先日パンフレットをお配りしました。是非一度足を運んでみてください！

聴覚障害教育福祉協会からのお知らせ

FM補聴システム（FM送受信機）の貸出について

財団法人聴覚障害者教育福祉協会では、聴覚障害のある乳幼児をはじめ聴覚障害児・者に対応する事業の一つとして、FM補聴システムの貸出を無料（郵送料のみ有料）で行っています。FM補聴システムは、話し手の声をFM電波に変えて聞き手に届けることができるため、すぐそばで話しているような大きさを聞くことができます（器機はタイループ接続型のものです）。

興味がある方は、担任の先生を通じて聴能言語室（佐伯）までお尋ねください。

貸与期間：3～5年

経費：こん包・送料 1台につき2000円

申込期限：平成24年7月31日（火）

※ 但し、配布予定数には（45台）限りがあるとのことです。

【本の紹介・その1】

デフ・ヴォイス

丸山 正樹・著 定価: 1600円
文藝春秋社

『こんどは、わたし達があなたの言葉をおぼえる』

結婚に失敗し、職場でも挫折した荒井は生活の為に手話通訳士となる。徹底した取材のもと、ろう者の社会を描き出した異色ミステリー。

(文藝春秋社ホームページより)

(… 紹介に当たって …)

本校のI先生からこの本のことを教えていただいて、即、購入したにもかかわらず、忙しいのを理由にしばらく買ったままにしていました(I先生ごめんなさい)。しかし、読み始めると、あっという間に読み終わってしまっていました。

小説はあまり読まず、そしてミステリーはほとんど読まずの私(担当者)ですが、この本の世界にはぐいぐいと引きつけられました。現在のろう者の世界、ろう教育の問題を知るにもいい「入門書」だと思います。

作者は、ろう教育に全く縁がなかった方とのことですが、丁寧な取材を基にして書かれています。この作品は昨年度の第18回松本清張賞の最終候補にまで残ったそうです。是非、御一読をおすすめします。



【本の紹介・その2】

ろう者のトリセツ ・ 聴者のトリセツ

関西手話カレッジ・著 定価: 1260円
星湖舎

『ろう者と聴者の言葉のズレ』

(… 紹介に当たって …)

「ろう文化」という言葉が広まったのは、20年近く前からでしょうか。馴染みはあるけど、説明しにくいその「文化」について、具体的な違いを挙げ、解説したのがこの本です。

「トリセツ」とは取扱説明書のこと。タイトルにろう者と聴者どちらにも「トリセツ」という言葉がついていることで、お互いの違いを「文化」として優劣なく見ること、対等なものとして見ることが大切だよという著者のメッセージが込められている気がします。

「あーあるある」とか「そうだったのか」と思う事例がたくさん出ています。



お知らせ・・・使用済み電池の廃棄について

昨年度の「みみちゃん47号」でも御連絡しましたが、今年度より、使用済み電池は、各家庭で廃棄をお願いいたします。

日本電池工業会のホームページでは、正しい廃棄方法について紹介されていますので (<http://www.baj.or.jp/index.html>)、参考にしてください。

ボタン電池回収缶を設置しているお店は、愛媛県下で162店あります。次のお店が協力店です（順不同、一部店舗には回収箱がない場合もあります）。

【眼鏡店、補聴器販売店】

- トーシン松山補聴器センター
- えひめ補聴器センター
- 補聴器センター辻 松山店
- メガネの三城
- いよてつ高島屋 メガネサロン

【家電量販店、ホームセンター】

- ダイキ
- ホームセンターコーナン
- ケーズデンキ
- デオデオ
- ベスト電器
- ヤマダ電機

なお、同会ホームページでは、

○ セロハンテープで絶縁する

○ お店の方に一声かけてから入れる

ことを呼びかけています。御協力ください。

また、地域の資源ゴミに出す場合は、それぞれの地域のルールに従って廃棄してください。

編集後記

「みみちゃん」の発行を始めたのが平成19年。現在は宇和特別支援学校聴覚障害部門にいらっしゃるF先生が長きにわたって担当し、様々な情報提供をしてくださいました。

続いて本校のT先生が引き継ぎ、本校で行った地域へのセンター的事業の報告等も掲載するようにして、現在に至ります。

そして何と、いよいよ次回で通巻50号を達成します。

今年度は自立・連携課の教員5名で担当させていただきます。

自立・連携課の情報提供誌として、今年度も「みみちゃん」をよろしくお願いいたします。

※ みみちゃんのバックナンバーは、ホームページで御覧いただけます。